



大妻同窓会山梨通信

発行 大妻同窓会山梨 印刷 (株) オズプリンティング

この度の新型コロナウイルス感染に際し、世の中は一変いたしました。すべての皆様に心よりお見舞い申し上げます。本来でしたら、この会報ももっと早くみなさまのお手元にお届けできる予定でしたが、このような事態により発行が遅れてしまいましたこととお詫び申し上げます。お寄せいただいた原稿はすべて当初のままのものとさせていただきます。皆で集い、旅行に行ったりできたあの頃の日常がいかにかに幸せであったのか、想いを馳せながらお楽しみいただけましたらと、あえて当時の原稿のままお届けいたします。またみなさまと楽しくお会いできる日が早く訪れますように。



ご挨拶

一般社団法人大妻コタカ記念会会長 井上小百合

大妻同窓会山梨の皆様にはお健やかに過ごしのことと存じます。皆様にはこれまで紅葉の集いやフラワーアレンジメント講習会など記念会へのご協力を賜り、また作秋には長野の大妻神社へお参りいただき心より御礼申し上げます。窪田代表のもと、会報の発行など新たな試みにワンチームで取り組んでおられることを大変嬉しく存じます。大妻学院は同業以来100年を越えましたが、学校組織になった約100年前に大妻良馬先生、コタカ先生は「将来は総合大学に」という理想を描いておられました。コタカ先生のご存命中に狭山中学校が開かれ(平成27年3月開校)、それを随諸にその後の多摩校開校に至り、現在、大学は5学部1短期大学部を擁し、大学および4つの高校中学に通う学生生徒は、約1万人の関東では最大級の学校になっています。コタカ先生が亡くなられて50年の歳月が流れましたが、泉下のコタカ先生はずっと大妻の末を見守られ、このように発展を続けてきた大妻の姿に、さぞ安堵なさっておられることでしょう。コタカ先生は生涯私利私欲を排し、世のため人のために尽され、大きな功績を残されました。校訓「恥を知れ」が表するように道徳心を大切にすることを根底に、人格を高め自立した女性として社会に貢献することは、建学の精神とした今もなお大妻学院に引き継がれています。年代は違っても同じ学校で学んだもの同士が自然と打ち解け合えるということは誰もが感じておられることでしょう。その繋がりを大切に長く続いてきた同窓会山梨がこれからも着実な歩みを進めていかれるように祈念いたします。

令和1号に寄せて

大妻同窓会山梨代表 窪田武子

会員の皆様、ご機嫌いかがお過ごしでしょうか?令和元年を迎え新たな気持ちで役員一同大妻同窓会山梨を盛り上げて行きたいと思っております。よろしく願いいたします。昭和27年の設立からの70年の歴史ある同窓会です。先輩の築いてきた灯を消さぬよう頑張りますので、会員の皆様のご協力お願い申し上げます。令和元年の総会も本部より内藤副会長様のご参加を賜わり、また若い新会員の方々のご参加もあり無事終了いたしました。この会報も令和1号として先輩会員各位のご協力により発行することができました。重ねて感謝申し上げます。今年度も楽しい事業を計画して参りますので、ご参加ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和元年度

大妻同窓会山梨総会を開催しました!

同時開催「童謡を楽しむ会」

令和元年6月9日、マネキン堂において総会を行ないました。来賓として記念会より副会長内藤まり様にご挨拶を賜り、新代表の窪田代表からの会長就任挨拶がありました。美味しいお食事をいただき、アトラクションとして開催した「童謡を楽しむ会」では、童謡歌手の若林秀和さんがすてきな歌をたくさん聴かせて下さり、最後には校歌を皆で一緒に合唱し楽しいひと時となりました。



堀内智恵さん(山梨市)より
絵手紙で総会の感想を頂きました



後日、内藤副会長より「大先輩からお若い新会員の方々まで20名もの方が集まり和やかで気品のある時間の中で67年の歴史の重みと結束力をしみじみと感じました」とのうれしいお礼状をいただいております。

役員紹介

どうぞよろしく
お願いいたします

代表 窪田 武子
副代表 青柳 美佐子
堀口 一美

庶務 山寺 良江
滝田 恵美子
志村 美枝子
山寺 直美

会計監査 小野 百合子
金丸 孝子

顧問 神宮寺 昭子
小澤 良子
小川 光子

甲府市 高遠春子さん

天皇陛下即位パレードの日、12名で秋の松本へ。久しぶりに会った皆さんと車中のお話はつきません。大妻神社は松本にあり見渡す限りの田園地帯、稲刈が終わりたなびく煙が青空に映え見惚れてしまいました。小さな森があり、その中にある小さな神社が大妻神社です。この辺が大妻という地名だったようです。

楽しく昼食をすませて向かったいわさきちひろ美術館では、素晴らしい絵に触れることができ、楽しい秋の1日でした。今回の旅行を企画してくださった役員さん、若い会員さんに感謝いたします。

楽しく行って来ました！ 秋の日帰りバス旅行

目的地→大妻神社&
いわさきちひろ美術館

令和元年 11月10日、
バス旅行に出かけました。
おふたりの方より感想を
お寄せいただきました。

笛吹市 飯島幸恵さん

秋晴れの下、大妻コタカ先生のルートでもある大妻神社へ初めて訪れました。真直ぐ伸びた木立ちに落ち着いた雰囲気の内側でした。昼食も素敵な佇まいの古民家作りのお店で美味しい鰻を堪能、美術館も木の温もりに溢れ、先輩方と談笑しながら新入会委員の私も大変充実した1日を過ごす事が出来ました。今年入会した私ですが、来年も先輩方の元気なお姿を拝見できることを楽しみにしております。



Memories of 大妻

3名の同窓生に母校の懐かしき思い出を寄せていただきました。

甲州市 菊島晴子さん

終戦後まもない時、校内寮が2部屋ありそこから草ボーボーの道を歩いて学校に通いました。食料事情の大変な時でしたが、節分にはお母様と寮生が大声をあげて豆をまきました。卒業後も校内寮生で「あかざ会」という会を作り持ち回りで旅行をしたり楽しくすごし、今も時々電話をして近況を語り合っております。その後の母校の発展を誇らしく思いつつ本会のご発展を祈っております。

斐崎市 高添節子さん

私が学校を卒業したのは、昭和26年3月、もう70年近くになります。当時国会議員をされていた天野久氏が皆を代表して面倒をみて下さいました。卒業して初めての支部総会に大妻コタカ先生と天野氏が出席して下さいました。私は幸いなことに東京からのガゴト道の車中をご一緒させて頂き、その際にコタカ先生が天野氏に「ご自分も通われる道ですから早く舗装なさるといいですね」とおっしゃったことを覚えております。学校の近くにお住いでいた先生が猫を抱かれていますお姿を何度かお見受けしました。今改めて思うのは、私たちの学校は環境も堅実で校風もよく、それゆえに今に至っても支部総会を途絶えることなく続けていられるように思っております。これからもますます発展することを願ってやみません。

山梨市 奥山久美さん

33年も昔のことですが、当時学部の1.2年生は狭山、3.4年生は千代田で学んでおりました。それぞれに思い出はありますが今ある自分を培ってくれたのは狭山の女子寮です。四方を茶畑に囲まれ、駅どころか店ひとつないその寮に都内在住以外の全生徒が2年間お世話になるのです。立派な建物のわりに寮の中の世界は驚きに満ちたものでした。ドアをあけると幅50センチのダンス、作り付けの2段ベッドに勉強机が左右の壁に隙間なく置かれ、すれ違うこともままならないスペースに学部違いのお姉さまとご一緒。6時に起床、掃除、朝食を済ませて血洗いをし登校、7時半の門限で大混乱のお風呂に命をかけるもシャワーの蛇口が足りなくて素っ裸で順番を待つこと。おまけに11時で容赦無く部屋は真っ暗。時は昭和のバブル最盛期、華やかな街の灯りとは裏腹な寮の中で、皆で勉強したりオヤツを分け合ったり、その時の語らいがキラキラとした形で私の中に残っています。お互いを認めあう心、我慢すること、そして「恥を知れ」。置かれた場所で努力し、今なお良妻賢母に努力しようともがく日々があるのは、あの頃があったからだと思うのです。

一般財団法人「大妻コタカ記念会」

同窓会事業はもとより、大妻学院の発展に協力するとともに広く公益に資する団体として、社会文化の発展に寄与するさまざまな公益目的事業を推進しております。「ふるさと」が確実にお手元に届くために会費を納入しましょう。

年会費納入のお願い

大妻同窓会山梨では、年会費1000円の会費の納入をお願いしております。豊かな活動のためにご協力をお願いいたします。

振込先

..... 訃報

金丸孝子さま 元大妻同窓会山梨副代表
(令和元年12月4日) 享年78才
謹んでご冥福をお祈り致します

今年度の予定

秋の訪れを感じる季節に合わせて秋の親睦会を開催したく考えております。会員のみなさまの安全と安心の備わった環境を整え、企画したいと思いつつ、その頃には、穏やかな日常が戻ることを願っております。楽しみにお待ちください。